

2006年中堅・中小企業のIAサーバ導入実態調査報告

ノーク・リサーチ(本社〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4-12-5:代表伊嶋謙二 03-5629-2163、URL: <http://www.norkresearch.co.jp>)では2006年中堅・中小企業のIAサーバの導入実態調査を実施し、その分析結果を発表した。

<中堅・中小企業のIAサーバ導入実態調査のポイント>

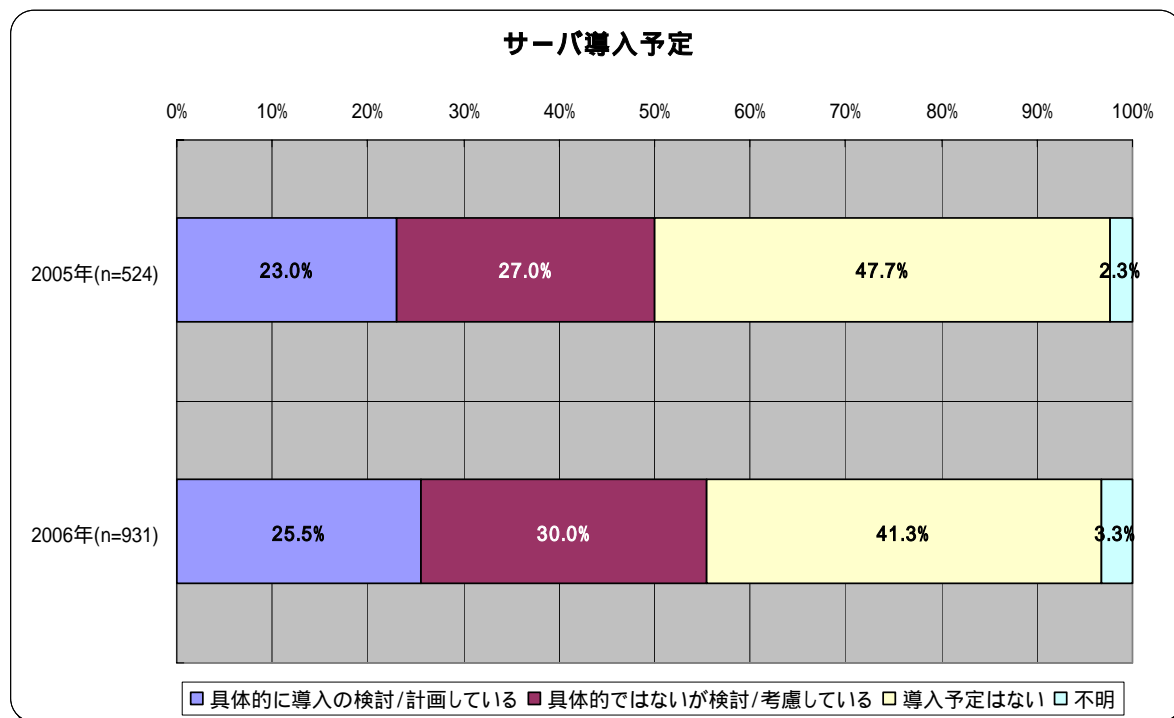
- 中堅・中小企業の景気回復、「導入予定ありは過半数越え」
- サーバメーカーシェアはNECが3年連続でトップ、2位富士通シェア伸ばす、デルは?
- ラック型が33%と増加、タワー型は6割に、ブレードはわずか2%
- 導入システムは「基幹系業務で約8割、グループウェアで約6割導入」
- サーバは「全く新規に導入」が相変わらず高く47.2%
- 約3割が「現システムに問題を感じて入れ替えを予定」している
- サーバOSは、「Windows」全体で8割強、「Linux」は5.5%
- サーバは「約6割が整理・統合の必要性を感じている」
- 9割近くが「ウィルス、スパムメール、スパイウェア等対策を実施している」

対象企業：全国の民間企業（年商5億円以上500億円未満）。有効回答数931社
 調査方法：Web、郵送アンケート 調査分析期間：2006年1月～3月

—サーバの今後の導入予定—

■ 導入予定ありは過半数越え

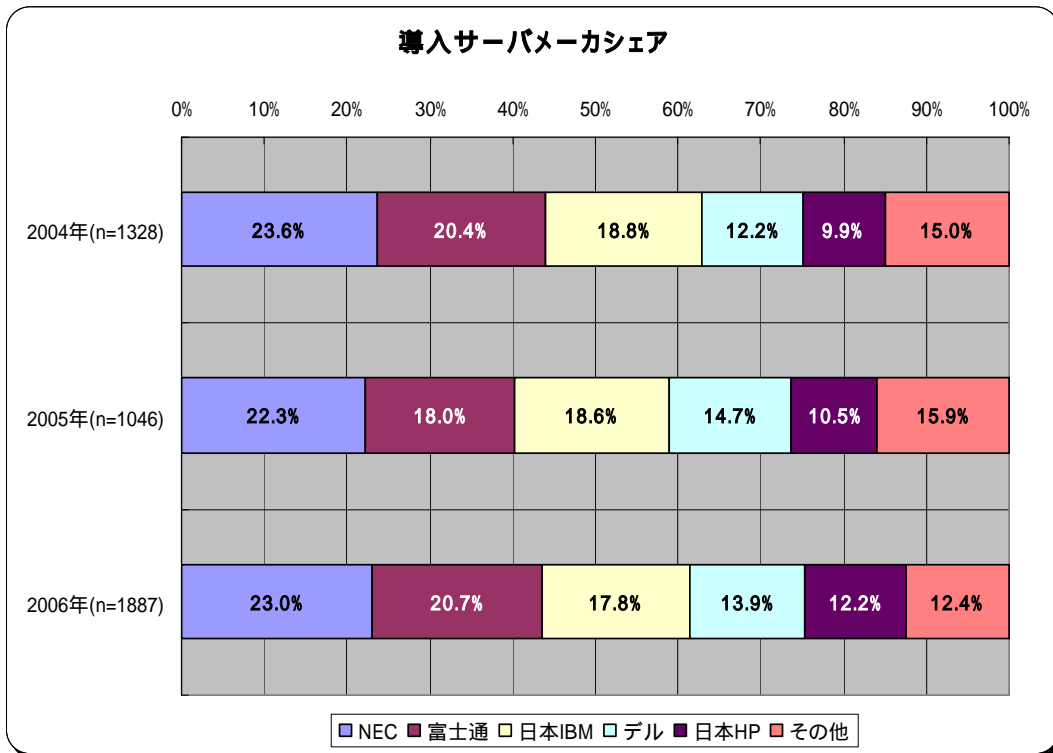
サーバの今後の導入予定では「導入の検討・計画・考慮」を合わせると55.5%と過半数を超えている。導入意欲は昨年と比較すれば確実に高まっていることを窺わせる結果となった。逆に「導入予定なし」が41.3%だが、昨年と比較すると6ポイント以上落としている。



—サーバメーカーシェア—

■ NECが3年連続トップ、2位富士通シェア伸ばす

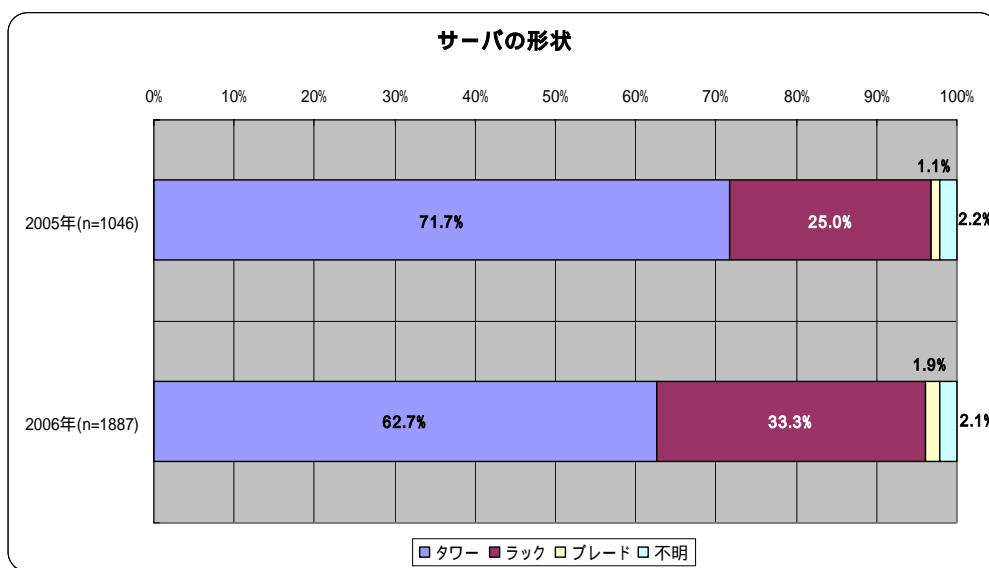
設置メーカーシェアでは上位5社は相変わらずだが、NECが23.0%とここ3年トップを維持している。2番手富士通20.7%が前年よりシェアを高めている。3位以下ではIBM17.8%で漸減だ。一方着実にシェアを高めていたデルは13.9%とこれも漸減と若干勢いが止まったように見える。逆にHPが12.2%とシェアを高めている。



—サーバの形状—

■ ラック型が33%と増加、タワー型は6割に、ブレードはわずか2%

サーバの形状別には「タワー型」が62.7%と圧倒的に高い。これは1wayの割合の高さとシンクロしている。また「ラック型」が33.3%と、ぐっと増加傾向を見せている。ラックサーバがさらに増加することは間違いない。「ブレード」は1.9%で、昨年とほぼ同じで、中堅・中小企業にはまだほとんど導入が進んでいないことが分かる。



—ITアプリケーションの導入状況—

■ 基幹系業務約8割、グループウェア約6割導入

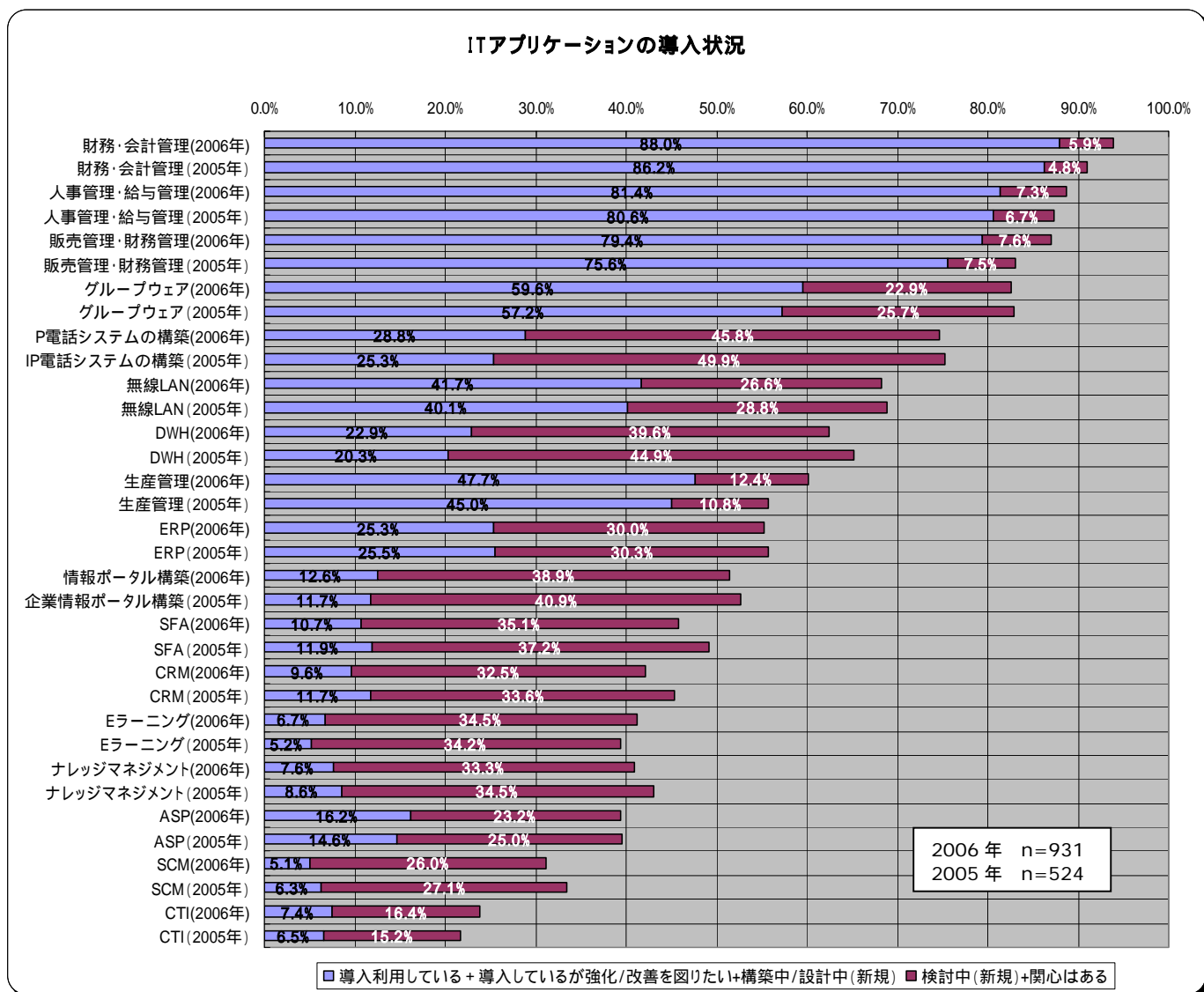
ITアプリケーションの導入実態では「財務会計」88.0%、「人事管理」81.4%、「販売管理」79.4%と基幹系業務システムの導入割合が極めて高い結果となった。

「グループウェア」は59.6%と約6割の導入率。「IP電話」は導入率28.8%で微増。「無線LAN」は41.7%と着実に導入率をあげている。

「ERP」は25.3%、「DWH」22.9%の導入率で多少横ばい傾向。

逆に10%前後の低い導入率なのが「CRM」「SFA」「SCM」「CTI」などの戦略系アプリケーションだ。関心度合も昨年に比べ若干低くなった。

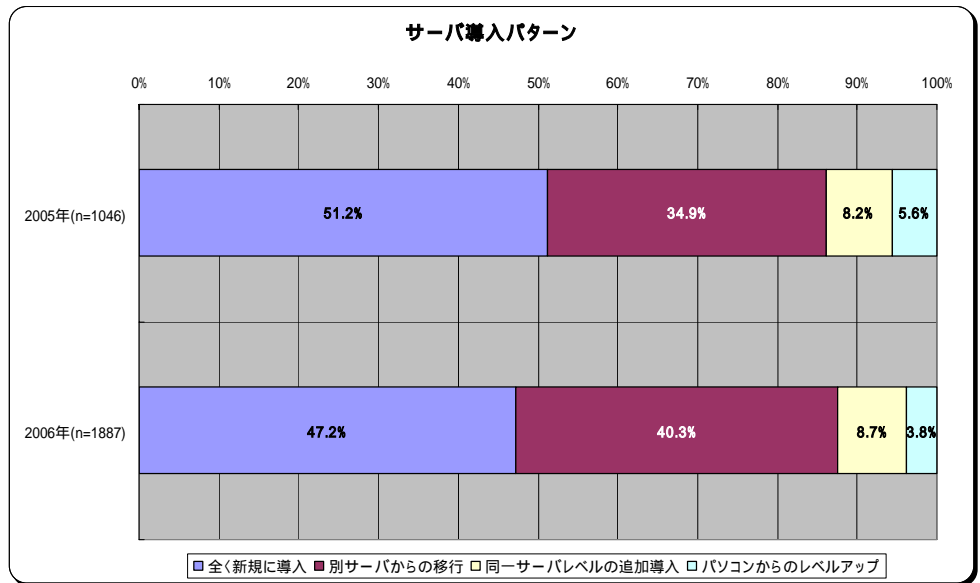
結論としては基幹系業務アプリケーションと情報系アプリケーションの導入率が高く、企業のコアコンピタンスを活用すべき戦略系アプリケーションの導入率が低いということが昨年同様変わらない。



—サーバ購入パターン—

■ 「全く新規に導入」が相変わらず高く 47.2%

サーバの購入パターンは 47.2%と「全く新規に導入」が相変わらず高いが、漸減傾向にある。逆に「別サーバからの移行」が 40.3%で（主に IA サーバのリプレース）増えているのが目立つ。IA サーバの追加導入やパソコンからのレベルアップは少ない。



—サーバ導入予定の要因—

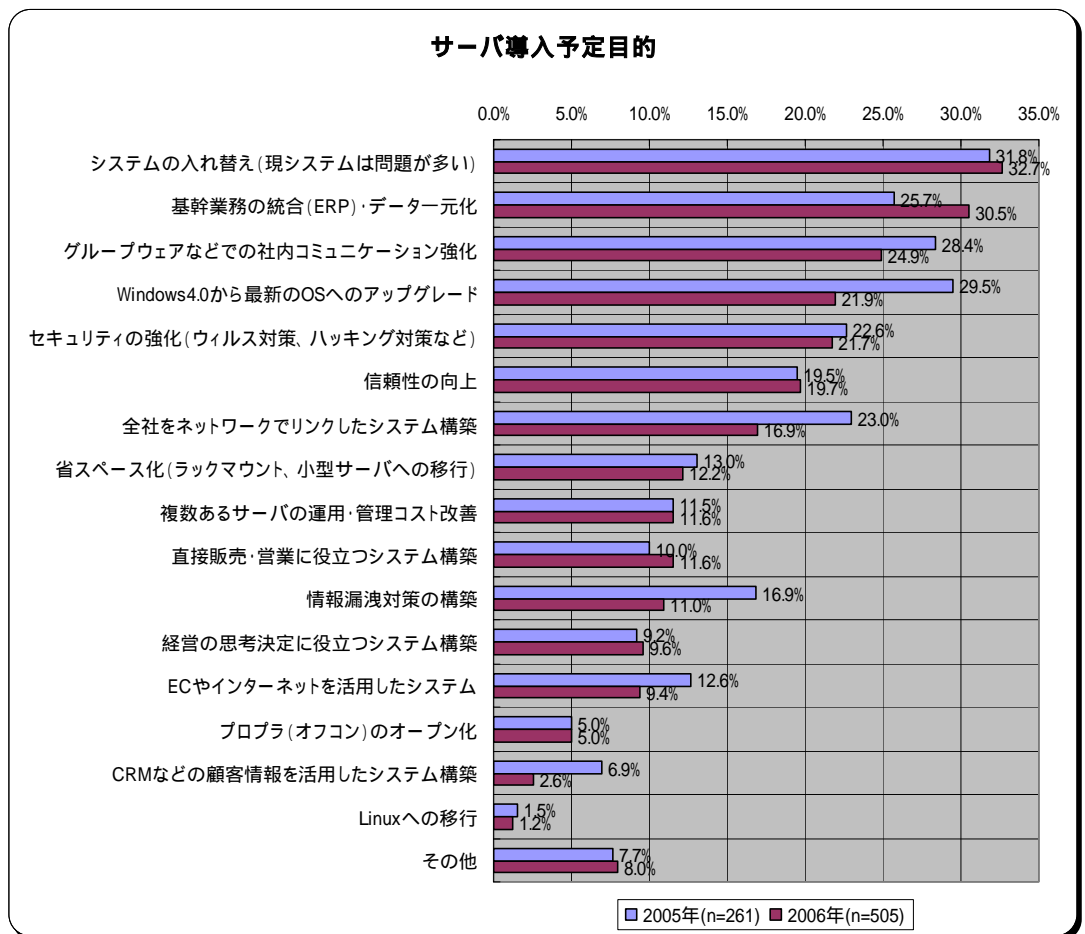
■ 現システムに問題を感じて、システムの入れ替えを予定している企業が約 3 割

導入予定の要因となるのは「システムの入れ替え」のためが最も多く 32.7%を占めた。低価格化、スペック不足などの要因もあり、現システムに問題ありと考えている企業が多いことが分かる。次いで「基幹業務の統合 (ERP)・データ一元化」が 30.5%と昨年と比較すると約 5 ポイント上昇している。

また社内情報系の整備目的である「グループウェアなどで社内のコミュニケーション強化」が 24.9%となっている。「NT から 2003 などへのアップグレード」が 21.9%で昨年に比べ約 8 ポイントの大きなダウンだ。逆に低いのが「直接販売・営業に役立つ」「経営の意思決定に役立つ」

「CRM 活用」などの戦略的な活用を目的とした導入要因が少ないのが目立つ。特に「CRM」は 2.6%と大きくポイントを落とした。

(※サーバ導入予定あり、検討中・関心ありの方が回答)

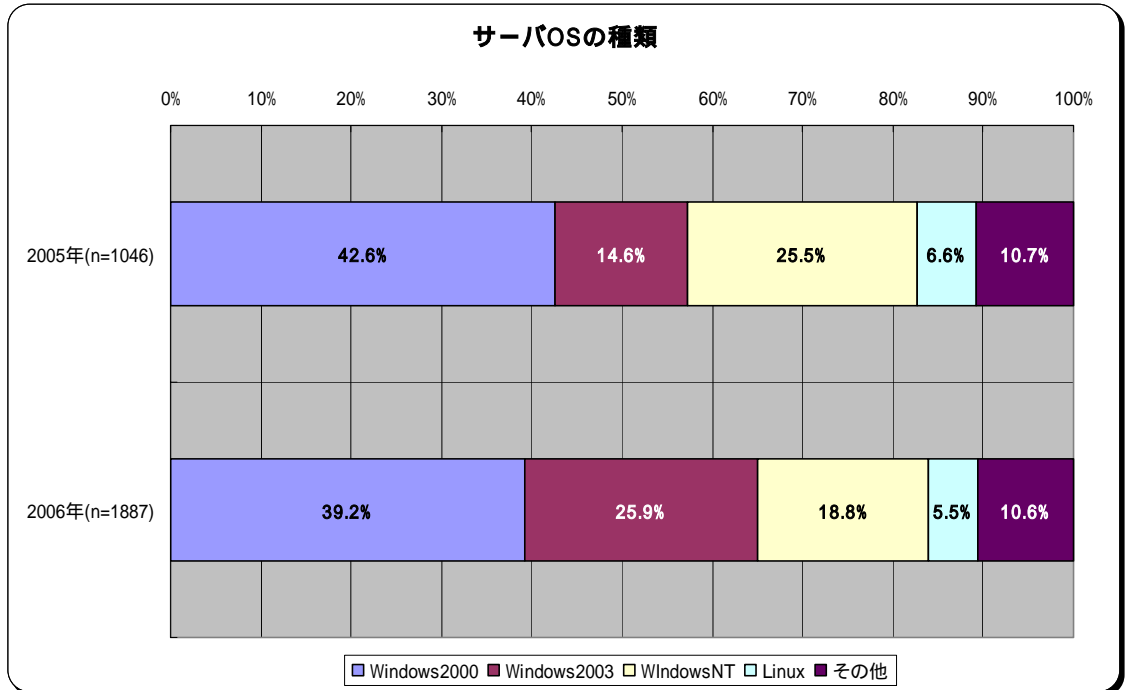


—サーバOSの種類—

■ サーバOSは、「Windows」全体で8割強、「Linux」は5.5%

サーバOSの種類では「Windows2000」が39.2%と最も高い。次いで「Windows2003」が25.9%と続く。昨年25.5%だった「WindowsNT」は18.8%と2割を切っている。その他OSではLinuxは5.5%で、昨年の6.6%よりもシェアを落としている。

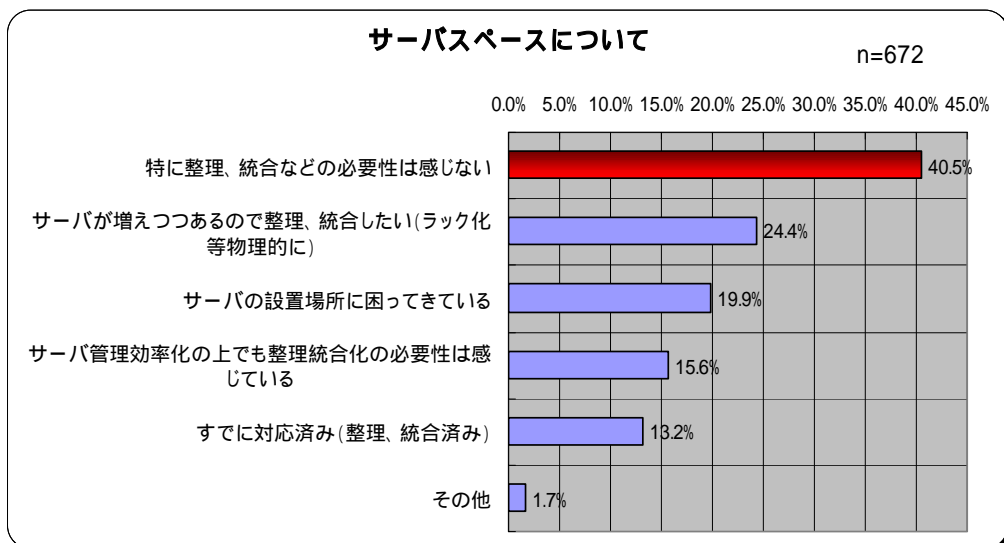
サーバOSはWindowsシリーズで83.9%を占めている。まさに中堅・中小企業のサーバOSはWindowsがデファクトな状況となっていることが明らかだ。



—サーバスペースについて—

■ サーバの置き場所については約6割が整理・統合を実施または検討している

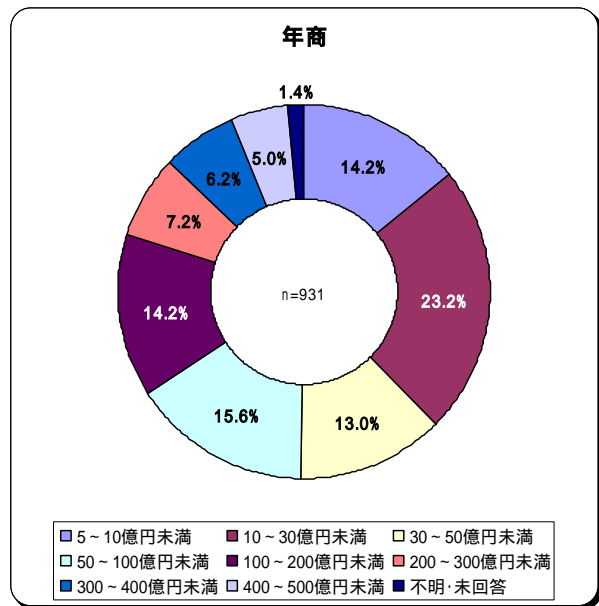
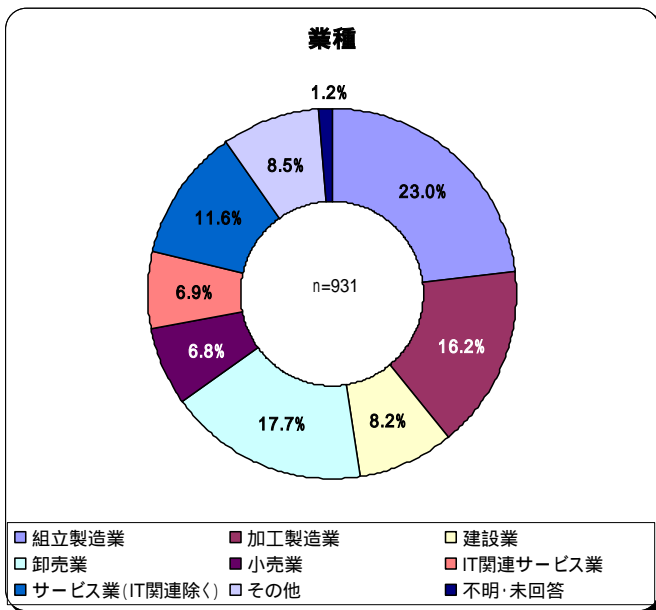
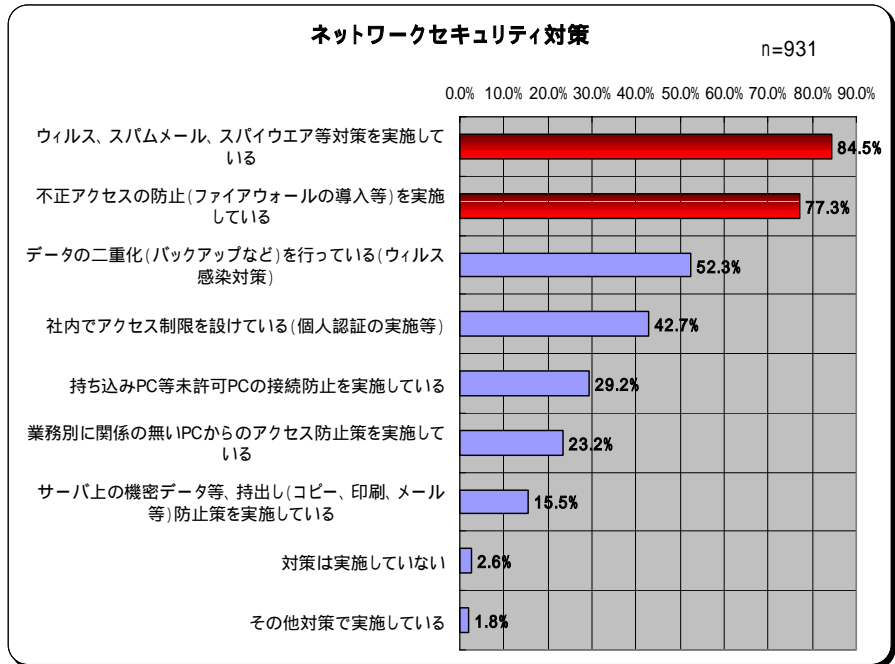
サーバスペースについては「特に整理、統合などの必要性は感じない」が40.5%と最も多い。逆にいえば約6割は「必要性を感じている」ということになる。「サーバが増えつつあるので整理、統合したい(ラック化等物理的に)」24.4%、「サーバの設置場所に困ってきている」19.9%、「サーバ管理効率化の上でも整理統合化の必要性は感じている」15.6%などサーバスペースの処理については検討項目に入ってきている。(※サーバを事務所内に設置している方が回答)



—ネットワークセキュリティ対策—

■ 9 割近くが「ウィルス、スパムメール、スパイウェア等対策を実施している」

ネットワークセキュリティ対策としては、昨年と大差は無く、「ウィルス、スパムメール、スパイウェア等対策を実施している」が 84.5%、「不正アクセスの防止」が 77.3%、「データの二重化」が 52.3%となっている。「対策は実施していない」は、わずかに 2.6%であった。



当調査データに関するお問い合わせ



ノーク・リサーチ
 担当：伊嶋 謙二(いしま)
 e-mail: pressr@norkresearch.co.jp
 〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4-12-5
 電話 5629-2163 FAX 5629-2164
 URL: <http://www.norkresearch.co.jp>